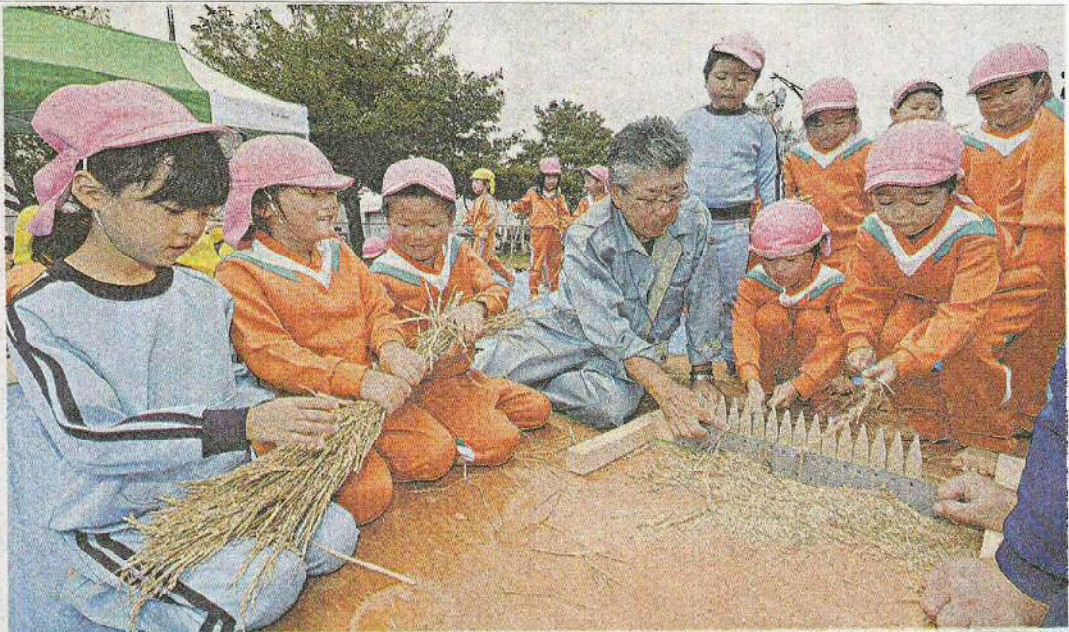


自らが刈り取った稲穂を脱穀する園児たち  
福井市の社中央保育園で(河野光吉撮影)



## 脱穀、もみすり、精米 おにぎり、で昼食

福井の保育園  
園児ら体験

福井市湊四丁目の社中央保育園で三日、園児が自ら育てて収穫した稲の脱穀や、もみすりを体験した。収穫したのはハナエチゼン。園近くの農家中東和栄さん(父)の田んぼ五十平方メートルで、同園と社中央第二保育園(運動公園一丁目)の年長児が四月下旬に田植えをし、八月中旬に三十キを刈り取った。

歯に引っ掛け、引っ張って脱穀した。もみすり鉢に入れて野球ボールでするなどした後、精米器で精米した。清水奏汰君は「こつやつて米ができることが分かった。またやってみたい」と笑顔で話した。園児たちは収穫分の一部を事前に精米して作ったおにぎりを昼食で味わった。残りの米も後日、給食に使う。

米作りは食育の一環で昨年からは本格的に取り組んでいる。(平野誠也)

両園の四十三人が参加。

中東さんやJA福井市の関係者らの指導で五十分を千